

利用のご案内

利用対象：仙台市が自立訓練の支給決定を行う方で、18歳以上の方

訓練時間：午前10時～午後3時

利用日：火～土までのうち最大週5日まで

利用料：①利用負担金（1ヶ月の利用にかかる費用の1割。負担上限額有り）。
詳細はお住まいの区役所・宮城総合支所（障害高齢課）にお問い合わせください。
②実費負担金（給食サービス・創作活動費等）

利用の流れ



お問い合わせ

名称	住所	電話
仙台市障害者総合支援センター	泉区泉中央2-24-1	771-6511
仙台市北部発達相談支援センター	泉区泉中央2-24-1	375-0176
仙台市南部発達相談支援センター	太白区長町南3-1-30	247-3828
宮城野障害者福祉センター	宮城野区大槻16-2	292-8474
若林障害者福祉センター	若林区遠見塚東8-1	294-0450
太白障害者福祉センター	太白区長町南1-6-10	308-8801
泉障害者福祉センター	泉区七北田字道48-12	372-7848

仙台市障害者福祉センター 自立訓練（機能訓練・生活訓練） 利用のご案内



屋外歩行訓練



家事動作訓練



コミュニケーション訓練



スポーツ

自立訓練はあなたの思いを応援します

障害があることで、あきらめてしまっていることはありませんか？
今ある機能を生かして、工夫をしたり、道具を使ったり、サポートの方法を変えることで、きっとできることがあります。
自立訓練では、みなさんの目標を実現するために、様々な訓練を実施します。

自立訓練（機能訓練・生活訓練）とは

「自立訓練」とは、地域で自立した日常生活や社会生活を営むために必要な身体機能・生活能力の維持向上のために訓練を行う障害福祉サービスです。

機能訓練

主な対象：肢体不自由や言語機能障害、視覚障害などの身体障害や難病がある方
内 容：運動や作業を行い、生活環境を整えることで、身体機能・生活能力の維持向上を目指します。実際場面での公共交通機関の利用や、道具を工夫した家事動作などの訓練を行います。
利用期間：原則1年6ヶ月の中で、訓練に必要な期間。

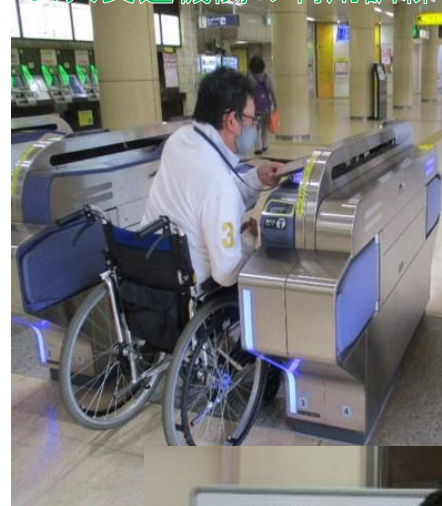
生活訓練

主な対象：高次脳機能障害や発達障害などの障害がある方
内 容：生活リズムや生活環境を整えることで、生活能力の維持向上を目指します。自身の障害への理解を深め、記憶や注意などの認知機能や対人コミュニケーションなどの向上を目的とした訓練を行います。
利用期間：原則2年の中で、訓練に必要な期間。

※センターによって実施内容が異なります。
詳細は、「各センターのご案内」をご覧ください。

訓練プログラムの様子

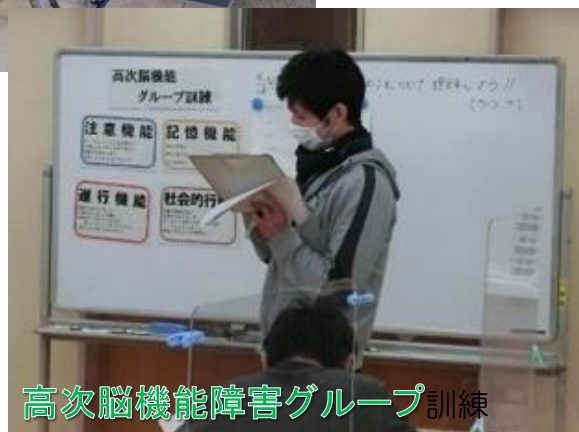
公共交通機関の利用訓練



スポーツレクリエーション



視覚障害者機能訓練
(白杖歩行訓練)



高次脳機能障害グループ訓練



創作活動

※プログラムの一例です。
詳細は、各センターにお問い合わせください。

こんな訓練ができます

脳梗塞で右の手足にマヒが残りました。高次脳機能障害とも言われています。今は車いすでの生活です。休職中ですが、1年後には元の仕事に戻りたいです。



通勤のために…

- 車いすで会社までの道のりを行けるようになります。まずは公共交通機関の乗り降りから練習します。いずれは狭い道や段差も安全に出勤できるようになりますよ。

仕事のために…

- 高次脳機能障害があっても忘れやすくなっています。手帳を使いませんか。どのような様式の手帳を使って、どのようにメモするか、確認はいつ、どのようにするかなど、一緒に考えましょう。
- ことばが出辛くなっています。同僚とのコミュニケーションが取りやすくなるように、グループで話をする練習をしましょう。

職場環境を整えるために…

- 職場にも身体障害や高次脳機能障害を理解してもらうため、就労支援の機関を紹介し、おつなぎします。私たちからも説明しますよ。
- 職場で初めての車いすユーザー。どのような環境が動きやすいか、職場に出向いて確認・助言します。



発達障害の診断を受けました。いずれは仕事をしたいと思っています。自宅で過ごす期間が長かったので、まずは体力づくりや外出の練習から始めたいです。



できることから始めましょう

- 通所が難しい時には、スタッフがご自宅へ訪問します。訪問回数や内容などを話し合いながら、無理なくご自身のペースで進められます。

体力づくりのために・・・

- 生活に必要な体力をつけて、健康的に過ごしませんか。あなたに合わせたプログラムを提案します。

社会生活のために・・・

- 小集団での関わりから少しずつ人づきあいの自信をつけていきませんか。あなたに合った人との関わり方を一緒に考えましょう。

将来望む生活を送るために・・・

- 好きなことや得意なことを教えてください。自分のことを知りながら、働くためのステップを考えましょう。



サービス管理責任者・生活支援員・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歩行訓練士が、チームを組んで生活のしづらさの解決に取り組みます！